

米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信託期間	2012年8月31日から2022年4月20日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資信託証券である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）ⅡーUSリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）ⅡーUSリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）	主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行った投資成果の享受を目指します。
	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月20日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

運用報告書（全体版）（第16作成期）

第89期（2020年2月20日） 第92期（2020年5月20日）
第90期（2020年3月23日） 第93期（2020年6月22日）
第91期（2020年4月20日） 第94期（2020年7月20日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）円ヘッジ・コース」は、2020年7月20日に第94期決算を行いましたので、第89期から第94期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-USリート・プレミアムファンド(円ヘッジ・クラス)組入比率	純資産額	
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率					
	円	円	%	%	%	%	百万円	
第12作成期	65期(2018年2月20日)	4,567	60	△2.4	—	—	98.3	448
	66期(2018年3月20日)	4,530	60	0.5	—	—	98.2	442
	67期(2018年4月20日)	4,441	60	△0.6	—	—	97.9	432
	68期(2018年5月21日)	4,447	60	1.5	—	—	98.2	432
	69期(2018年6月20日)	4,470	60	1.9	—	—	98.0	421
	70期(2018年7月20日)	4,493	60	1.9	—	—	97.9	420
第13作成期	71期(2018年8月20日)	4,501	60	1.5	—	—	98.0	442
	72期(2018年9月20日)	4,389	60	△1.2	—	—	97.7	411
	73期(2018年10月22日)	4,172	60	△3.6	—	—	98.1	359
	74期(2018年11月20日)	4,211	60	2.4	—	—	97.8	350
	75期(2018年12月20日)	4,018	40	△3.6	—	—	97.8	320
	76期(2019年1月21日)	4,086	40	2.7	—	—	98.3	321
第14作成期	77期(2019年2月20日)	4,114	40	1.7	—	—	98.0	332
	78期(2019年3月20日)	4,102	40	0.7	—	—	97.9	328
	79期(2019年4月22日)	4,076	40	0.3	—	—	97.7	346
	80期(2019年5月20日)	4,120	40	2.1	—	—	98.0	344
	81期(2019年6月20日)	4,131	40	1.2	—	—	98.1	345
	82期(2019年7月22日)	4,018	40	△1.8	—	—	97.8	395
第15作成期	83期(2019年8月20日)	4,121	40	3.6	—	—	97.6	412
	84期(2019年9月20日)	4,131	40	1.2	—	—	97.9	504
	85期(2019年10月21日)	4,155	40	1.5	—	—	97.7	498
	86期(2019年11月20日)	4,088	40	△0.6	—	—	97.9	665
	87期(2019年12月20日)	4,007	40	△1.0	—	—	97.9	695
	88期(2020年1月20日)	4,059	40	2.3	—	—	98.1	707
第16作成期	89期(2020年2月20日)	4,042	40	0.6	—	—	97.9	725
	90期(2020年3月23日)	2,652	40	△33.4	—	—	97.7	478
	91期(2020年4月20日)	2,934	40	12.1	—	—	98.2	525
	92期(2020年5月20日)	2,806	40	△3.0	—	—	98.3	498
	93期(2020年6月22日)	2,941	40	6.2	—	—	97.7	532
	94期(2020年7月20日)	2,917	40	0.5	—	—	98.1	526

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ トラスト(ケイマン) II-USリート・ プレミアムファンド (円ヘッジ・クラス) 組 入 比 率
		円	騰 落 率			
第89期	期 首 (前期末) 2020年 1月20日	4,059	—	—	—	98.1
	1月末	4,064	0.1	—	—	98.0
	期 末 2020年 2月20日	4,082	0.6	—	—	97.9
第90期	期 首 (前期末) 2020年 2月20日	4,042	—	—	—	97.9
	2月末	3,740	△ 7.5	—	—	97.7
	期 末 2020年 3月23日	2,692	△33.4	—	—	97.7
第91期	期 首 (前期末) 2020年 3月23日	2,652	—	—	—	97.7
	3月末	2,938	10.8	—	—	98.2
	期 末 2020年 4月20日	2,974	12.1	—	—	98.2
第92期	期 首 (前期末) 2020年 4月20日	2,934	—	—	—	98.2
	4月末	2,966	1.1	—	—	98.4
	期 末 2020年 5月20日	2,846	△ 3.0	—	—	98.3
第93期	期 首 (前期末) 2020年 5月20日	2,806	—	—	—	98.3
	5月末	2,963	5.6	—	—	98.4
	期 末 2020年 6月22日	2,981	6.2	—	—	97.7
第94期	期 首 (前期末) 2020年 6月22日	2,941	—	—	—	97.7
	6月末	2,894	△ 1.6	—	—	97.6
	期 末 2020年 7月20日	2,957	0.5	—	—	98.1

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

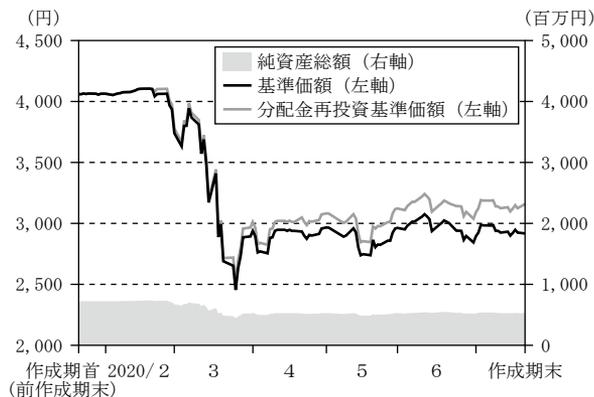
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第89期首：4,059円

第94期末：2,917円（既払分配金240円）

騰落率：△22.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）」において、主に米国リート価格の下落がマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）	△22.5%
T&Dマネーパールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【米国リート市場】

米国リート市場は下落しました。作成期初から2020年2月中旬にかけては、低位で安定する米国長期金利の動向が好感され、米国リート市場は高値圏で推移しました。2月下旬には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が投資家心理を悪化させたことから米国リート市場は反落し、その後も、新型コロナウイルスについてWHO（世界保健機関）が「パンデミック（世界的な大流行）」を宣言したことや、経済活動の停滞によって世界的な景気減速が長期化するとの観測が拡大したことなどから米国リート市場は大幅に下落しました。3月下旬には、米政府による景気刺激策やFRB（米連邦準備制度理事会）の緩和的な政策運営が支援材料となって米国リート市場は上昇し、新型コロナウイルスの新規感染者数の鈍化見通しを背景とした経済活動再開への期待や、市場予想を上回る5月雇用統計などが投資家心理を改善させるなか、6月上旬にかけて概ね上昇基調で推移しました。作成期末にかけては、パウエルFRB議長が景気低迷の長期化見通しを示したことや、感染拡大が続くテキサス州やフロリダ州などで経済活動が再度制限されたことなどが投資家心理を冷やし、米国リート市場は上値の重い展開となりました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の△0.13%から作成期末は△0.09%となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）」を高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、当該取引を通じて実質的に、為替リスクを低減しつつ、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引の投資成果の享受を目指す運用を行いました。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万円当たりの分配金（税込み）は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第89期から第94期まで各40円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

*iShares®（iシェアーズ®）はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）円ヘッジ・コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）円ヘッジ・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（円ヘッジ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ 米国不動産ETFへの投資と米国リートのコールオプションの売却を行い、安定した配当収入の確保と値上がり益の獲得を目指します。また、当クラスでは為替リスクを低減するため、原則として実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行います。

【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年1月21日から2020年7月20日まで)

費用の明細

項目	第89期～第94期		項目の概要
	2020/1/21～2020/7/20		
	金額	比率	
平均基準価額	3,260円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	22円 (7) (14) (1)	0.673% (0.219) (0.438) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.010 (0.010)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	22	0.691	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

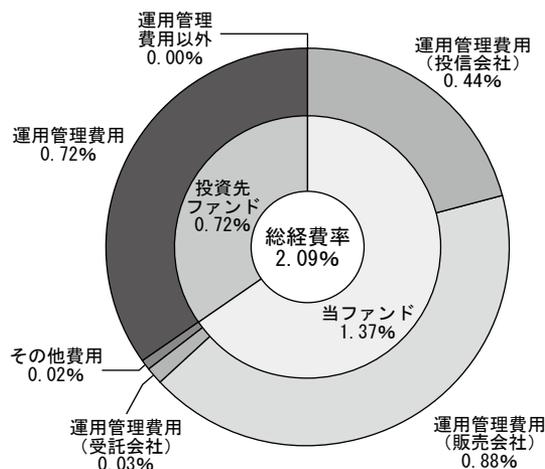
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.09%です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年1月21日から2020年7月20日まで)

(1) 投資信託証券

		第 89 期 ~ 第 94 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		口	千円	口	千円
外国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-U Sリート・プレミアム ファンド (円ヘッジ・クラス)	13,177	44,000	6,582	19,939

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年1月21日から2020年7月20日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年7月20日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第88期末)	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II- USリート・プレミアムファンド (円ヘッジ・クラス)	口 177,100	口 183,695	千円 516,215	% 98.1

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 88 期 末)	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 1,653	千口 1,653	千円 1,679

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は555,059千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年7月20日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II- USリート・プレミアムファンド (円ヘッジ・クラス)	千円 516,215	% 96.7
T & D マネープールマザーファンド	1,679	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	16,189	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	534,083	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月20日現在 2020年3月23日現在 2020年4月20日現在 2020年5月20日現在 2020年6月22日現在 2020年7月20日現在

項 目	第 89 期末	第 90 期末	第 91 期末	第 92 期末	第 93 期末	第 94 期末
(A) 資 産	733,234,771円	488,062,932円	532,971,331円	506,687,984円	540,408,424円	534,083,320円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	21,540,324	19,530,799	15,445,408	14,414,963	18,606,434	16,188,699
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-U\$リート・プレミアム ファンド(円ヘッジ・クラス)(詳価額)	710,014,941	466,852,627	515,846,582	490,593,680	520,122,814	516,215,611
T&Dマネーボールマザーファンド(詳価額)	1,679,506	1,679,506	1,679,341	1,679,341	1,679,176	1,679,010
(B) 負 債	8,017,451	9,976,975	7,699,825	7,693,176	7,895,418	7,774,049
未 払 金	-	2,000,000	-	-	-	-
未 払 収 益 分 配 金	7,176,809	7,209,609	7,162,000	7,114,067	7,242,319	7,217,959
未 払 信 託 報 酬	831,150	758,704	531,754	572,573	645,725	549,814
未 払 利 息	43	35	30	27	35	28
そ の 他 未 払 費 用	9,449	8,627	6,041	6,509	7,339	6,248
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	725,217,320	478,085,957	525,271,506	498,994,808	532,513,006	526,309,271
元 本	1,794,202,422	1,802,402,390	1,790,500,076	1,778,516,993	1,810,579,779	1,804,489,930
次 期 繰 越 損 益 金	△1,068,985,102	△1,324,316,433	△1,265,228,570	△1,279,522,185	△1,278,066,773	△1,278,180,659
(D) 受 益 権 総 口 数	1,794,202,422口	1,802,402,390口	1,790,500,076口	1,778,516,993口	1,810,579,779口	1,804,489,930口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,042円	2,652円	2,934円	2,806円	2,941円	2,917円

(注) 当ファンドの第89期首元本額は1,742,916,277円、第89～94期中追加設定元本額は136,944,051円、第89～94期中一部解約元本額は75,370,398円です。

(注) 元本の欠損

第94期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は1,278,180,659円です。

(注) 第94期末の1口当たり純資産額は0.2917円です。

損益の状況

自2020年1月21日 自2020年2月21日 自2020年3月24日 自2020年4月21日 自2020年5月21日 自2020年6月23日
至2020年2月20日 至2020年3月23日 至2020年4月20日 至2020年5月20日 至2020年6月22日 至2020年7月20日

項 目	第 89 期	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期
(A) 配 当 等 収 益	7,199,486円	7,199,377円	7,217,589円	7,198,703円	7,099,105円	7,296,835円
受 取 配 当 金	7,200,411	7,200,379	7,218,102	7,199,250	7,099,808	7,297,462
支 払 利 息	△ 925	△ 1,002	△ 513	△ 547	△ 703	△ 627
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,240,780	△ 248,587,294	△ 50,801,882	△ 22,275,995	△ 24,301,777	△ 3,936,488
売 買 損 益	1	594,259	50,980,683	△ 790	24,511,023	108
売 買 損 益	△ 2,240,781	△ 249,181,553	△ 178,801	△ 22,275,205	△ 209,246	△ 3,936,596
(C) 信 託 報 酬 等	△ 840,599	△ 767,331	△ 537,837	△ 579,082	△ 653,064	△ 556,062
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 4,118,107	△ 242,155,248	△ 57,481,634	△ 15,656,374	△ 30,747,818	△ 2,804,285
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 259,542,709	△ 258,925,008	△ 504,405,949	△ 450,681,294	△ 469,636,129	△ 444,178,119
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 806,383,691	△ 816,026,568	△ 811,142,255	△ 806,070,450	△ 831,936,143	△ 829,588,866
(配 当 等 相 当 額)	(83,078,911)	(83,686,644)	(83,142,676)	(82,593,406)	(84,454,495)	(84,179,294)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 889,462,020)	(△ 899,713,212)	(△ 894,284,931)	(△ 888,663,856)	(△ 916,390,638)	(△ 913,768,160)
(G) 合 計 (D + E + F)	△1,061,808,293	△1,317,106,824	△1,258,066,570	△1,272,408,111	△1,270,824,454	△1,270,962,700
(H) 収 益 分 配 金	△ 7,176,809	△ 7,209,609	△ 7,162,000	△ 7,114,067	△ 7,242,319	△ 7,217,959
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△1,068,985,102	△1,324,316,433	△1,265,228,570	△1,279,522,185	△1,278,066,773	△1,278,180,659
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 806,383,691	△ 816,026,568	△ 811,142,255	△ 806,070,450	△ 831,936,143	△ 829,588,866
(配 当 等 相 当 額)	(83,078,911)	(83,686,644)	(83,142,676)	(82,593,406)	(84,454,495)	(84,179,294)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 889,462,020)	(△ 899,713,212)	(△ 894,284,931)	(△ 888,663,856)	(△ 916,390,638)	(△ 913,768,160)
分 配 準 備 積 立 金	9,238,559	8,360,108	8,287,801	7,741,455	7,391,096	6,884,924
繰 越 損 益 金	△ 271,839,970	△ 516,649,973	△ 462,374,116	△ 481,193,190	△ 453,521,726	△ 455,476,717

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第89期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,358,887円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（83,078,911円）および分配準備積立金（10,056,481円）より、分配対象収益は99,494,279円（1万口当たり554円）であり、うち7,176,809円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第90期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,432,046円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（83,686,644円）および分配準備積立金（9,137,671円）より、分配対象収益は99,256,361円（1万口当たり550円）であり、うち7,209,609円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第91期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（7,150,682円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（83,142,676円）および分配準備積立金（8,299,119円）より、分配対象収益は98,592,477円（1万口当たり550円）であり、うち7,162,000円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第92期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,619,621円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（82,593,406円）および分配準備積立金（8,235,901円）より、分配対象収益は97,448,928円（1万口当たり547円）であり、うち7,114,067円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第93期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,951,447円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（84,454,495円）および分配準備積立金（7,681,968円）より、分配対象収益は99,087,910円（1万口当たり547円）であり、うち7,242,319円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

【第94期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,740,773円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（84,179,294円）および分配準備積立金（7,362,110円）より、分配対象収益は98,282,177円（1万口当たり544円）であり、うち7,217,959円（1万口当たり40円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2020年1月21日 ～2020年2月20日	2020年2月21日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月20日	2020年4月21日 ～2020年5月20日	2020年5月21日 ～2020年6月22日	2020年6月23日 ～2020年7月20日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.980	1.486	1.345	1.405	1.342	1.353
当期の収益	35	35	39	37	38	37
当期の収益以外	4	4	0	2	1	2
翌期繰越分配対象額	514	510	510	507	507	504

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド
（円ヘッジ・クラス）／（通貨プレミアム・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	<p>（円ヘッジ・クラス） 主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行った投資成果の享受を目指します。</p> <p>（通貨プレミアム・クラス） 主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。</p>
投資態度	<p>（円ヘッジ・クラス） ①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行った投資成果の享受を目指します。 ②原則として、米国リート・オプション取引の実質的な想定元本は、おおむね純資産相当額程度で行うものとします。</p> <p>（通貨プレミアム・クラス） ①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ②原則として、米国リート・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、それぞれおおむね純資産相当額程度で行うものとします。</p> <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1)(2)：バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3)：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2020年1月31日

	受益権総口数
円ヘッジ・クラス	180,416口
通貨プレミアム・クラス	4,515,596
合計	4,696,012口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2019年2月1日～2020年1月31日

単位：円

収益	
手数料収入	1,220,853,093
担保付スワップ取引に係る純損益	(211,573,597)
投資純損益	1,009,279,496
費用	
運用費用	48,576,432
運用費用合計	48,576,432
分配前の期中の純資産変動	960,703,064
支払分配金	(1,172,276,661)
分配後の期中の純資産変動	(211,573,597)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2020年1月31日

担保付スワップ

単位：円

想定元本額	評価額
1,804,162,855	706,508,370
45,155,955,718	13,911,917,774
合計	14,618,426,144

(注) 日付は現地基準です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第31期（決算日 2020年6月10日）
（計算期間 2019年12月11日から2020年6月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2020年6月10日に第31期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
27期（2018年6月11日）	10,169	△0.0	—	—	百万円 717
28期（2018年12月10日）	10,165	△0.0	—	—	701
29期（2019年6月10日）	10,161	△0.0	—	—	652
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	733
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首（前期末） 2019年12月10日	10,158	—	—	—
12月末	10,157	△0.0	—	—
2020年1月末	10,157	△0.0	—	—
2月末	10,156	△0.0	—	—
3月末	10,156	△0.0	—	—
4月末	10,155	△0.0	—	—
5月末	10,154	△0.0	—	—
期 末 2020年6月10日	10,154	△0.0	—	—

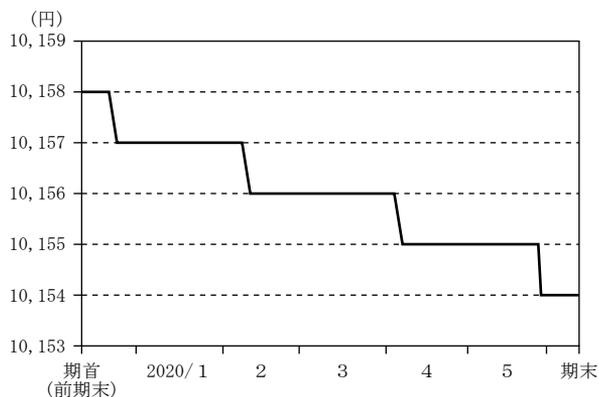
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,158円から期末は10,154円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初、期末ともに $\Delta 0.11\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/12/11~2020/6/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,155円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年6月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年6月10日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 575,924	% 100.0
投資信託財産総額	575,924	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	575,924,224円
コール・ローン等	575,924,224
(B) 負 債	1,159
未 払 利 息	1,159
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	575,923,065
元 本	567,176,513
次 期 繰 越 損 益 金	8,746,552
(D) 受 益 権 総 口 数	567,176,513口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,154円

(注) 期首元本額 721,650,571円
 期中追加設定元本額 41,876,701円
 期中一部解約元本額 196,350,759円

(注) 1口当たり純資産額は1.0154円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T & Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	57,394,392円
米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツイーンαファンド (毎月分配型)	13,070,055円
野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型	22,097,965円
野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型	5,675,163円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	18,319,121円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	2,636,170円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	212,895,925円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	9,735,828円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型	1,038,862円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型	160,506円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型	43,012,339円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型	11,872,046円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	33,235,413円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	4,042,047円
野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型	13,535,750円
野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型	5,829,793円
野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	31,988,285円

損益の状況

当期 自2019年12月11日 至2020年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 234,944円
支 払 利 息	△ 234,944
(B) そ の 他 費 用	△ 2,938
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 237,882
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	11,385,369
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	657,299
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,058,234
(G) 合 計 (C + D + E + F)	8,746,552
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	8,746,552

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。